

2026年度 子どもアドボカシー基礎講座

子どもアドボカシーは、子どもの思いや願いをしっかりと受け止め、子どもの思いや願いが実現されるよう努める働きです。

当センターは、子どもアドボカシーをひろめ、活用することを通じて、まずは、最も小さい、最も弱い立場にある子どもの思いや願いを大切に受け止め、子どもの権利を尊重する社会の実現をめざします。

今回の基礎講座では、講師に、研究者や実務家、アドボカシー実践者のほか、社会的養護の体験者をお招きし、様々な角度から受講されるみなさんに子どもアドボカシーの必要性を実感していただく予定です。

★受講対象：どなたでも

★日程：2026年6月18日～7月30日

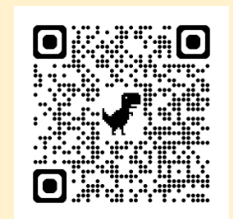
★受講方法：オンライン（動画とZOOMを利用します。）



事前に1時間程度の動画を視聴していただき、当日は、ZOOMを利用してグループ討議の後、質疑、意見交換を行うのが原則です。

★申し込み方法：下記のURLまたはQRコードにアクセスし、Googleフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gleZm2QGmrypWyfaSAD9>



★定員：80人

★締切：2026年6月12日（金） 定員に達したら締め切ります。

★受講料：12,000円（修了認定審査料を含む）

（30歳未満は半額の6000円）

★テキスト：堀正嗣著『子どもアドボカイト養成講座』明石書店
（ご購入いただき受講前にご一読ください。）

◆主催：子どもアドボカシー学会・子どもアドボカシーセンター広島

◆後援：広島県教育委員会・広島市・広島市教育委員会
安芸高田市・安芸高田市教育委員会

問い合わせ 子どもアドボカシーセンター広島 kodomoadv0104@gmail.com

カリキュラムについて

6月18日(木)	0	18:50~19:00	オリエンテーション (今回の講座の狙いや進め方について説明します。)	定者 吉人 (弁護士・子どもアドボカシー センター広島 代表理事)
	1	19:00~20:00	子どもアドボカシーとは(意味・必要性・担い手) (子どもアドボカシーを初めて学ぶ方のために概要を説明します。)	堀 正嗣 (熊本学園大学 教授)
	2	20:15~21:15	子どもの権利条約と子どもの権利 (日本が1994年に批准した子どもの権利条約の意義と子どもの権利を概観し、 子どもの権利の実現のための日本の法制度を学びます。)	定者 吉人
6月25日(木)	3	19:00~21:00	子どもの権利の理解(演習) (子どもの権利について具体例をもとに、学びを深めます。)	定者 吉人
7月2日(木)	4	19:00~20:00	子どもの多様性の理解とアドボカシーの必要性 (多様な子どもひとりひとりに応じて対処することの大切さを学びます。)	高橋 弘恵 (NPO法人チャイルドラインあ いち 代表理事)
	5	20:15~21:15	アドボカシーの理念と原則 (アドボカシーの理念と原則について、理解を深めます。)	堀 正嗣
7月9日(木)	6	19:00~20:00	当事者・経験者が求めるアドボカシー (社会的養護の経験者から、なぜ子どもアドボカシーが重要なのか、 経験を踏まえてお話しいたします。)	金山 さよ (子どもアドボカシー学会 認定トレーナー)
	7	20:15~21:15	訪問アドボカシーとは (一時保護所や児童養護施設へ定期的に訪問してアドボカシーを実施する際の注 意点を学びます。)	奥村 仁美 (子どもアドボカシーセンター OSAKA 代表理事)
7月17日(金)	8	19:00~20:00	個別アドボカシーとは (子どもから思いや願い、困りごとなどを聴いてほしいと申し出があった場合の 対応の仕方について学びます。)	栄留 里美 (西南学院大学 准教授)
	9	20:15~21:15	障害児・乳幼児のアドボカシー (障害児・乳幼児から思いや願いを聴くための 心構えと技術について学びます。)	堀 正嗣
7月30日(木)	10	19:00~21:00	(演習)レポート発表・グループ討議・質疑応答・振り返り	定者 吉人

★修了認定について

- ・すべての講座の受講が必要です。
- ・3分の1以内の欠席であれば休んだ時の講座をWEB受講できます。
- ・毎回の講座前、講座後に受講レポート提出が必要です。
- ・すべての講座受講後、修了レポートの提出が必要です。

★修了認定評価ポイント

- ・子どもの権利を理解しているか
- ・子どもアドボカシーに関する基礎知識を理解しているか
- ・出席状況(原則として全ての講座への出席が必要です)

★基礎講座修了後について

基礎講座を修了した方は専門講座を受講することができます。

次回の専門講座は今年の秋に「障害児のアドボカシー」を開催予定です。